

E.L.F.

EQUALITY

LIBERTY

FRATERNITY

2023

85

summer



インタビュー

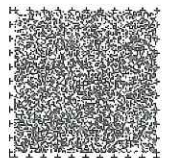


ゆかい なかま
LGBT と愉快的な仲間たち

だいひょう あんざい みき
代表 安西 美樹 さん

エルフねこの
おしゃべり広場

わかやまけんない
和歌山県内のジェンダーレス制服を紹介します！





LGBTと愉快的仲間たち

代表 安西 美樹さん

今回は、和歌山市で活動をされている「LGBTと愉快的仲間たち」代表の安西 美樹さんにお話を伺いました。

※このインタビューは、2023年6月に行われました。

Q1、安西さんは、どのような活動をされていますか？

「LGBTと愉快的仲間たち」の団体代表として、毎年「レインボーフェスタ和歌山」の開催や小規模の講演会、映画の上映会などを開いて、LGBTに関する啓発活動をしています。

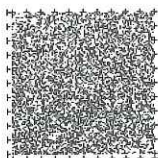
基本は、和歌山市や和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”からの助成金を資本として活動を行っています。イベントに参加される方は、当事者やLGBTに関する活動をされている方、学校の先生などが多いです。今後は、LGBTについて全く知らない人向けのイベントを、ショッピングモールなどで行いたいと考えています。



イベントの計画や準備をしている当会の主なメンバーは5人程度です。和歌山だけではなく、大阪など県外からのメンバーもいるので、大阪で開催される大きなイベントなどの情報も得ることができています。

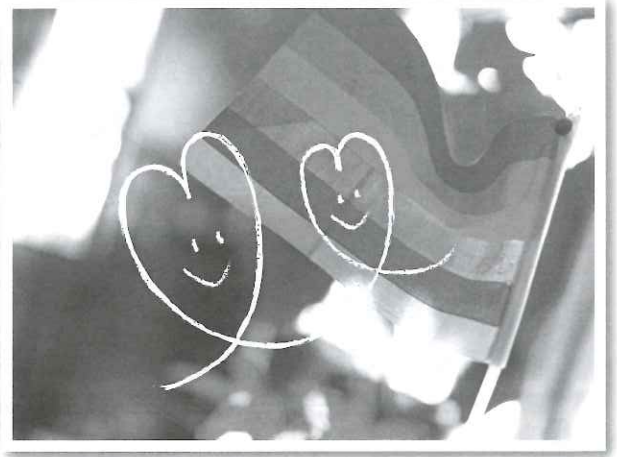
和歌山県内では、LGBTの支援団体は3団体あります。団体には属さず、個人的に活動している方もいるようですが、まだまだLGBTに関する活動をしている人が和歌山県に少ないことが現状です。レインボーフェスタ和歌山の実行委員でも、若い方などに活動してほしいと考えていますが、なかなか人を集められずにいます。

関心を持っている人を募るのが難しいという点の他に、LGBTに関する活動をしていることでLGBT当事者であるといっぼうきに決めつけられ、偏見を持たれることもあるので、当事者を含め活動に参加しにくいと感じる問題もあります。



Q2、活動を始めるきっかけと目的

10年前に、現在の「東京レインボープライドパレード」に行ったときに、障害のある一人の方が、自分のジェンダーアイデンティティ（性自認）の格好をして楽しそうにしている姿を見ました。障害があっても自分のジェンダーアイデンティティ（性自認）の姿で、楽しそうにしている様子がとても良く、和歌山県でも、自分の性について悩んでいる人が楽しめる場所を作りたいと思い、活動を始めました。



活動を始めた当初は、お客さんが10～20人ほどの小さな講演会や、アライの方を集めたお食事会を行っていました。講演会などのイベントに参加することも大切ですが、当事者と会って一緒に話をしたり、何かすることで、LGBTへの理解が深まると考えています。中にはLGBTという文字に当てはまらない、色々なジェンダーアイデンティティ（性自認）の方もいるので、その人と一緒に何かをすることで、その人となりを知ることができます。「自分たちと一緒になんだ」「LGBTは特別な人たちじゃないんだ」など、自分なりに何かを感じてもらいたいです。

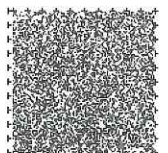
また、当事者の方にはそういう場で実体験を話してもらって、実際に困っていることや、こう言われて嬉しかったということなどを共有してもらえたら嬉しいです。

Q3、和歌山県内のLGBTへの取り組みについてどう思いますか？

大阪や東京などの大都市に比べて、和歌山県では、LGBTをカミングアウトする人が少ないです。「周りに知られたら、この場所に居づらくなる」という不安を持った人が多く、そういう人はどうしてもカミングアウトができずにいます。

小さな街ではコミュニティに住む人達の距離感が近く、つながりの強さを感じられて良いことがある反面、噂が広まるのが早く、同性カップルが手をつないで歩いているだけですぐに噂が広まっていたということも少なくありません。

性の多様性を認め合える、住みやすい街づくりという点では、市町村の協力は欠か

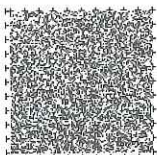


せません。直近では令和5年度4月1日に、那智勝浦町パートナーシップ・ファミリーシップ制度が始まりました。

このパートナーシップ・ファミリーシップ制度設立の経緯は、私の元に相談にきた当事者の方に「那智勝浦町でレインボーフェスタをやろう」と言い、そのレインボーフェスタにてパートナーシップ制度設立の署名活動などをしたことがきっかけです。私はレインボーフェスタの実行

夏号に登場する用語

- ・マイノリティ：少数派。少数派は弱者の立場に属する者やその集団を指す。
- ・ジェンダーアイデンティティ（性自認）：自分が自分自身に対して思う性。
- ・LGBT：性的指向を表す言葉（L・G・B）とジェンダーアイデンティティ（性自認）（T）を表す言葉の頭文字を合わせたセクシュアルマイノリティ（性的少数者）を表す言葉。下記の言葉の頭文字を取っている。性別や性的指向がわからなかったり、決めたくない人を指すQ（Questioning:クエスチョニング）を加えてLGBTQと呼ぶこともある。
 - レズビアン（Lesbian）：女性の同性愛者
 - ゲイ（Gay）：男性の同性愛者
 - バイセクシュアル（Bisexual）：男性と女性の両方を好きになる人、両性愛者
 - トランスジェンダー（Transgender）：身体の性とジェンダーアイデンティティ（性自認）が一致せず、自身の性別に違和感がある人
- ・アライ（Ally）：LGBTの当事者ではないが、活動に理解を示したり、応援したりする人
- ・SOGI/SOGIE（ソジ/ソギ/ソジー）：Sexual Orientation（性的指向）とGender Identity（ジェンダーアイデンティティ（性自認））のこと。みんなが性について考えるべきだという視点をとっている。Sexual Expression（性表現、服装や髪型など外見的に性別を表すもの）のEを加えたSOGIEも同じ意味で使われる。
- ・カミングアウト（coming-out）：これまで公にしていなかったこと、例えば、出自や症状、セクシュアリティなどを他者に、また社会に表明すること。
- ・アウトイング（outing）：本人の了承を得ずに、本人が公表していない性的指向やジェンダーアイデンティティ（性自認）を第三者に暴露すること。



委員としてお手伝いさせてもらっています。勝浦は観光の街でもあり、県外の人も多く訪れるので、パートナーシップ制度の必要性が十分にあると感じています。

パートナーシップ制度は、制度ができればそれで終わりではありません。制度が始まった後も、どんどん行政へLGBTへの理解を働きかけ、今後この制度をどうしていくのか、制度を使った人がどうすればもっと住みやすい街になるのかなど、町と十分に話し合い連携を取っていくことが大切です。



今後、和歌山県がパートナーシップ制度開始を検討してくれることはとても大切ですが、それだけではなく、各市町村がパートナーシップ制度に取り組んでいくことも大切です。各市町村でパートナーシップ制度ができれば、一歩踏み出しやすくパートナーの宣誓ができ、当事者の気持ちや労力も断然違います。ぜひ各市町村にはその街に住む当事者を応援してほしいです。

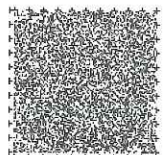
また、私たちのような団体もまだまだ小さな街に力を入れて啓発活動ができていないため、今後様々な市町村で当事者を支援する活動の場を広げていきたいです。

LGBTの方は、今住んでいる場所に仲間がいないと感じていても、決して諦めないでほしいです。世界中にいる仲間の活動が、今ニュースやSNSで数多く取り上げられています。それを自分の活動の活力にし、一人でも多くの方が声を上げられる世の中になればいいと思います。

Q4、これからどんなことをしていきたいですか？

これからはLGBTと防災についての啓発に力を入れていきたいです。

東日本大震災や熊本地震などで被災したLGBTの方に話を聞くと、避難所に入ることができないという悩みを聞きました。避難所に入るには、避難者名簿に本名や性別を書かないといけなかったり、同性カップルというだけで周りの人にジロジロと見られる恐れや、一緒にのテントにいて噂をされる恐れがあるからです。先の震災では避難所には行かずに、倒壊の危険がある半壊の家にいたり、車中泊をしたという当事者もいます。災害時に当事者の命を守るために、行政と共に連携を図り、当事者の方たちがいざというときに困ることがないように



にしていきたいと思っています。そのためには、防災意識を高めるきっかけ作りのための講演などで啓発を進めていきたいです。

Q5、読者の方にメッセージをお願いします。

マイノリティの当事者は自分のことを特別とは考えていません。LGBTに限らず、どんな人もある日突然、何かしらのマイノリティになるかもしれないからです。

例えば、健康な体の人でも、ある日突然交通事故に遭い、機能障害が残るかもしれません。

いざという時のために、どんなマイノリティがあるのか、困った時はどうすれば良いのか、どこに相談に行けば良いのかなどを事前に知っておけば、自分の身にも何か起こったときに役に立ちます。

マイノリティを自分事として考えてほしいです。そして、自分のことだけではなく、少し立ち止まって自分の周りを気かけ、困った人がいれば手を貸してあげてほしいです。他の人を大切に思う気持ちを持つことが、人権を守ることに繋がると私は思います。



人権ホットライン

人権でんわ相談

さまざまな問題や悩みを抱える相談者に助言を行い、自身が主体的に問題を解決するための支援を行います。

一般相談

①開設日時／毎週月曜日～金曜日

午前9時～午後4時

(祝日・12/29～1/3は休み)

②相談方法／電話相談

TEL 073-421-7830

弁護士による無料法律相談

①開設日時／偶数月 第2・第4木曜日

奇数月 第2土曜日・第4木曜日

午後1時～4時(当日が祝日の場合はその翌日)

②相談方法／面接相談・オンライン相談

TEL 073-435-5420 (お電話でご予約ください)

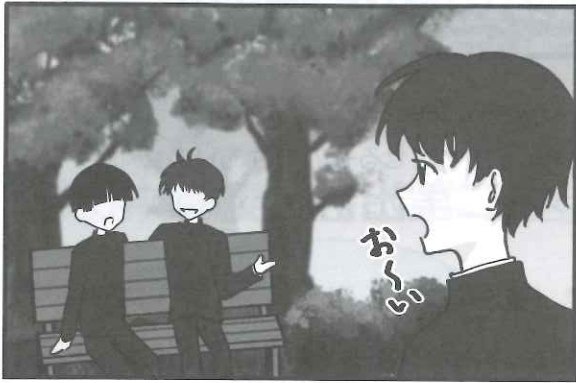
日頃、生活の中で人権に関するお困り事などがありましたら、お気軽にご相談ください。

2023(令和5)年度法律相談実施日

8月10日・24日、9月9日・28日、10月12日・26日、11月11日・24日、12月14日・28日、1月13日・25日、2月8日・22日、3月9日・28日



本当は言いたい



つきあっている二人が、同性だという理由で、それを隠さなければいけないなんて、おかしいことだと思いませんか？

身体の性と自認の性が一致し、異性を愛する人が多数派とされていますが、誰を好きになるかは、人それぞれの自由であり、大切な権利です。

身体の性と自認の性が一致していなかったり、同性を愛する人などは「性的マイノリティ（性的少数者）」といます。

性的マイノリティを表す総称の一つに「LGBT」という言葉がありますが、性のあり方は多様であるため、この言葉だけで表せるものではありません。

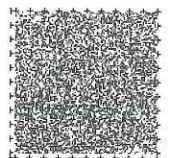
LGBTは性的マイノリティの人を指す言葉ですが、一方で、すべての人の性的指向や性自認を指す「SOGI/SOGIE（ソジ/ソギ/ソジー）」という言葉があります。

人は見た目や性格、生き方すべてに、多種多様な違いがあり、性のあり方も男女の2つだけではなく、多様性に富んでいます。

性別を「男」「女」だけと決めつけるのではなく、いろいろなSOGI/SOGIEが、グラデーションのように混じり合い、重なり合うと考えることで、自分が望む、自分らしい多様な「性」を発見したり、表現したりすることができます。

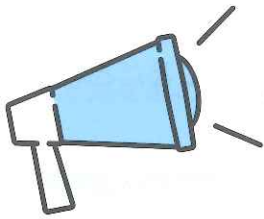
つまり、性については、すべての人が当事者でありみんなが自分事として考える必要があります。誰もが、お互いに異なるSOGI/SOGIEを持っているのです。

これまではLGBTという言葉が注目されてきましたが、これからは性に関する個人の多様性を考え、SOGI/SOGIEの考え方を通じて、すべての人がお互いの多様性を認め合い、尊重し、理解し合える社会をみんなで作っていきましょう。



まんが：和歌山市立和歌山高等学校

2年生 石塚 希歩 さん



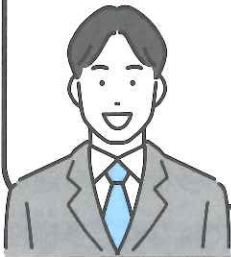
パートナーシップ制度を導入している 市町の声を紹介します!

那智勝浦町 当町が令和5年4月1日から導入した「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」は、法的な効力（婚姻、親族関係の形成、相続や税金の控除等）を生じさせるものではありませんが、お二人の思いを尊重するとともに、お二人が互いをパートナーとして、一方又は双方の子又は親等をファミリーとして宣誓されたことを証明する制度です。

性的マイノリティをはじめ、性の多様性を周知・分かち合うイベント「レインボーフェスタ」の開催や、LGBTQセミナーを当町職員が受けたことがきっかけとなり、パートナーシップ制度導入への機運が高まり、取り組みを検討することになりました。

また令和4年11月に開催された「レインボーフェスタ那智勝浦」でも制度導入の署名活動が行なわれ、当町に提出されました。そこから、制度導入に向けての検討がより進められ、性的マイノリティの方々への取り組みとして両制度の導入に至りました。

まだ制度が導入されたばかりで大きな反響はありませんが、制度を通じて性的マイノリティについても知ってもらい、互いに認め合う社会になっていくよう周知啓発を進めていきます。



那智勝浦町役場 観光企画課

橋本市 当市では、令和4年10月より「パートナーシップ宣誓制度」がスタートしました。

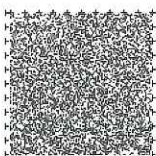
平成31年3月に橋本市で行われた市民意識調査で、「行政が同性カップルに対して、結婚に相当する関係と認め、証明書を交付することはよいことだ」という質問に対して、そう思う、どちらかと言えばそう思うと答えた人が70.7%もいました。また、令和3年3月に橋本市人権施策基本方針が改定され、令和7年までにパートナーシップ制度を導入するという目標を掲げるなど、導入に対してプラスな意見が多かったことが制度導入のきっかけとなりました。

令和5年5月までに3組のカップルが宣誓をしており、市民からは、「パートナーシップ制度ができると思ってもいなかったの、制度ができて嬉しい」という声をいただいています。

橋本市は、和歌山県で一番早くパートナーシップ制度を導入した市ですが、まだまだパートナーシップ制度についての周知が行き渡っていません。現在悩んでいる方やパートナーシップ制度について全く知らなかったという人に届くように、これからもっと市民に向けた講演会や啓発活動を積極的に進めていきます。



橋本市人権・男女共同推進室



エ ル 7 お こ の ま し や べ り 広 場

わ か やま けん ない せい ふく しょう かい
和歌山県内のジェンダーレス制服を紹介します！

いわ で し り つ
岩出市立

いわ で ちゅう がっ ころ いわ で だい に ちゅう がっ ころ
岩出中学校・岩出第二中学校

れいわ ねん ど せいふく
 令和5年度から制服を
 えら べ る よう に な っ た ん だ っ て ！

まえ あ
 ブレザーの前合わせは
 さ ゆ う
 左右どちらでもOK！

い が い
 ブレザーのボタン以外は
 お な し ょ う
 同じデザインを使用しているよ



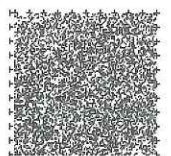
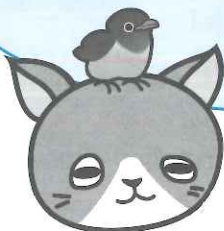
し ゅ る い
 スラックスは2種類あるよ



わ か やま けん り つ
和歌山県立
 わ か やま ひ が し こ う と う がっ ころ
和歌山東高等学校

わ か やま ひ が し こ う と う がっ ころ わ か やま けん ない
 和歌山東高等学校は和歌山県内で
 い ち ば ん
 一番はじめにジェンダーレス制服を
 どう に ゆ う がっ ころ
 導入した学校だよ！

じ ぶ ん き せいふく
 自分の着たい制服が
 き 着 ら れ る の っ て 良 い ね ！



じんけん けいはい
人権啓発
まんざい
漫才ショー



まなつ 真夏のわくわく お笑い教室

だいいつかい
第一回

- 日時:2023(令和5)年8月26日(土)14:00~15:45
- 場所:海南nobinos ノビノスホール(住所:海南市日方15、電話:073-483-8739)

だいにかい
第二回

- 日時:2023(令和5)年8月27日(日)14:00~15:45
- 場所:和歌山県立情報交流センターBig・U 多目的ホール
(住所:田辺市新庄町3353-9、電話:0739-26-4111)

ていいん
定員
かくじつ
各日100人
もうしこみせんちゆうじゆん
(申込先着順)

- 講師:オシエルズ 矢島 ノブ雄さん 野村 真之介さん(お笑いコンビ)
- 申込方法:「お名前」「住所」「連絡先(電話番号)」「勤務先や所属(あれば)」「希望する回」を電話、FAX、郵送又はEメールでお申し込みください。(お預かりいたしました個人情報については、当センターで責任をもって管理させていただきます。)
- 一時保育:要申し込み(8月15日(火)まで)
(公財)和歌山県人権啓発センター「ワークショップ」係

FAX 073-435-5421 / TEL 073-435-5420 / Eメール workshop@w-jinken.jp

住所 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

きぎょう
企業トップセミナー

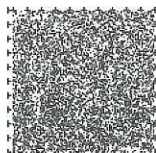
にほん きぎょう あら けいえい じんけん
日本企業の新たな経営アジェンダ「ビジネスと人権」

- 日時:2023(令和5)年9月6日(水)13:30~16:10
- 場所:和歌山城ホール大会議室(和歌山市七番丁25番地の1)
- 講師:潮崎 真性子さん(オウルズコンサルティンググループ マネジャー)
- 申込方法:「お名前」「連絡先(電話番号)」「事業所名や所属(あれば)」を電話、FAX、郵送またはEメールでお申し込みください。(お預かりいたしました個人情報については当センターで責任をもって管理し、本講座のみに使用させていただきます。)
- 手話通訳・要約筆記:要申し込み(8月23日(水)まで)
(公財)和歌山県人権啓発センター「講演会」係

ていいん
定員
100人
もうしこみせんちゆうじゆん
(申込先着順)

FAX 073-435-5421 / TEL 073-435-5420 / Eメール jseminar@w-jinken.jp

住所 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階



人権ライブラリー(おすすめ図書)のご紹介

おうさまとおうさま (ポット出版)

リнда・ハーン/スターン・ナイランド (絵と文) アンドレア・ゲルマー/眞野豊 (翻訳)

ある白女王様は、王子様に「結婚して王さまになりなさい」と言います。
さっそく、王子さまは世界中のお姫さまと会うこととなりますが、王子さまが
ひとめぼれしたのは、素敵な王子さまでした。

お姫さまと王子さまが結ばれるお話だけではなく、王子さまと王子さまが結ばれるお話もあつてもいいですね。

世界中で翻訳されているLGBTをテーマにした絵本です。



タンタンタンゴはパパふたり (ポット出版)

ジャスティン・リチャードソン&ピーター・パーネル (文)
ヘンリー・コール (絵) 尾辻かな子、前田和男 (翻訳)

ニューヨークにあるセントラル・パーク動物園で実際にあったペンギンの親子のお話です。

ペンギンのロイとシロは、どちらも男の子ですが、いつも仲良くいっしょです。

仲間のペンギンたちが我が家を作り、卵を温めるのを観察していたロイとシロに、飼育員は他のカップルが育てられなかった卵を与えます。

そうして、ロイとシロは大切に卵を温め、タンゴが産まれました。

ロイとシロとタンゴのようにいろいろな家族の形があることを知って欲しい絵本です。

知ってる? LGBTの友だち マンガ レインボーkids (子どもの未来社)

てまるかのこ (漫画) かねこゆみこ (解説/監修)

いろいろな性の人たちがいることを意味する虹色をキーワードに、虹色の子どもたちの悩みや生き方について保健室の金子先生が質問に答えていく漫画です。

LGBTってなんだろう?と思う子どもだけでなく、大人にも読んで欲しい一冊です。



見えない子どもたち~LGBTと向き合う親子~ (秋田書店)

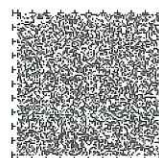
かわさき めい (著)

14歳の女子中学生・永遠は心の性と体の性が一致しないトランスジェンダーです。両親や祖母に本当の自分を理解してもらえないことを永遠は悩みます。

永遠の母・美南子はどのようにして自分の子どもを受け入れるので

しょうか?

家族や友人がLGBTだったとき、あなたはどのように向き合いますか?



『みんな、たいせつ』出張講座

訪問先決定

幼児向け人権啓発プログラム「みんな、たいせつ」を持って、専門のファシリテーターが幼稚園や保育園などに訪問します！



今年もたくさんの園や施設からご応募いただきました。ありがとうございました。

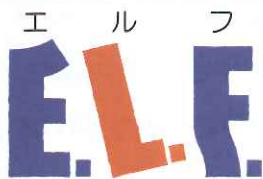
選考の結果、下記の10箇所への訪問が決定しました！

ご希望に添えなかったみなさま、大変申し訳ありません。

当センターでは、今後もさまざまな催しやセミナーを実施してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

出張講座の訪問先 (10箇所) ※順不同

しらゆり保育園 (御坊市)、ゆあさこども園 (湯浅町)、山口こども園 (和歌山市)、金屋第3保育所 (有田川町)、(社福)おひさま子ども園 (岩出市)、宮崎町保育所 (有田市)、古江見保育園 (有田市)、橋本こども園 (橋本市)、(社福)三谷こども園 (かつらぎ町)、和歌山認定こども園 (和歌山市)



公益財団法人 和歌山県人権啓発センター

Equality / 平等 Liberty / 自由 Fraternity / 友愛

- お問い合わせ 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛2階
TEL 073-435-5420 FAX 073-435-5421
URL w-jinken.jp/ E-mail mail@w-jinken.jp
- 開館時間 9:00 ~ 17:45 *人権ライブラリー・人権ギャラリーは、
9:30 ~ 17:00
- 休館日 日曜・祝日、年末年始 (12/29~1/3)
- 交通案内 JR和歌山駅から徒歩:約20分、バス:約5分「手平出島」下車
JR宮前駅から徒歩約7分
南海和歌山市駅からバス:約20分「手平出島」下車
有料駐車場あり 100円/50分 (30分以内無料)

